

# 妊婦血中アルブミンの酸化還元バランスと児の出生体重の関係について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-03-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田畑, 風華, 和田, 泰明, 江原, 達弥, 小松, 陽介, 和泉, 裕久, 川上, 智美, 能代, 究, 馬詰, 武, 武田, 安弘 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10271/00003982">http://hdl.handle.net/10271/00003982</a>

第 10 回日本 DOHaD 学会

<優秀演題賞候補 1>

**妊婦血中アルブミンの酸化還元バランスと児の出生体重の関係について**

1 森永乳業株式会社 健康栄養科学研究所、2 北海道大学 産学・地域協働推進機構 FMI 推進本部、3 北海道大学大学院医学研究院 産婦人科学教室

田畑 風華

和田泰明 1,2、江原達弥 1,2、小松陽介 1,2、和泉裕久 1,2、川上智美 1,2、能代究 3、馬詰武 3、武田安弘 2

**【背景・目的】** 日本の低出生体重児の割合は、他の OECD 諸国と比べて高い。その要因のひとつとして、日本人女性の強いやせ願望に伴う低栄養状態の関与が考えられる。血中アルブミンは栄養指標として広く用いられてきたが、近年、血中アルブミンの酸化還元バランスがたんぱく質栄養状態に応じて、アルブミン値よりも鋭敏に応答する、有用な新規栄養指標となりうる事が明らかとなった。しかし、血中アルブミンの酸化還元バランスが妊娠女性のたんぱく質栄養状態や、低体重児出産リスクと関連があるかどうかについては、これまで検証されていない。本研究では、妊婦の血中アルブミン酸化還元バランスが児の出生体重と関連性があるかどうかを検証することを目的とした。

**【方法・結果】** 日本人妊婦 229 名を対象に妊娠前期・中期・後期に採取した血清を HPLC 分析に供して、還元型アルブミン比率 (=血中アルブミンの酸化還元バランス) を測定した。得られた還元型アルブミン比率と児の出生体重との関係を調べた結果、妊娠後期の血中還元型アルブミン比率に児の出生体重との有意な相関関係が認められた。

**【結論】** 血中アルブミンの酸化還元バランスがたんぱく質栄養指標であることを考慮すると、同バランスは妊婦の低たんぱく質栄養状態やそれに伴う低出生体重児出産リスクを示すバイオマーカーとなる可能性がある。